

～都と婚活・結婚関連団体が連携して結婚支援を推進～ 「結婚おうえん TOKYO ミーティング」を開催

東京都では、「一人ひとりの多様な選択肢が叶えられる社会」の実現に向け、ライフステージを通じた切れ目ない支援を進めています。このたび、社会全体のムーブメントを高めることで、婚活・結婚に躊躇している人が1歩を踏み出す勇気が持てるよう、結婚相談所、式場・婚礼関係等、マッチングアプリの団体が集まって議論する取組「結婚おうえん TOKYO ミーティング」の令和7年度第1回を6月26日(木)に開催しました。今後各団体との連携を一層深め、1人ひとりの多様な選択肢に寄り添った取組を実施してまいります。会議に出席した各団体の代表者からは、連携に関する取組の方向性や今後の具体的な事業展開等の提案がありました。(以下、発言から抜粋。会議の様子はこちらから：<https://www.youtube.com/watch?v=Qnmat-O9H5A>)



■小池百合子 東京都知事

昨年6月に会議を立ち上げて以来、各団体の皆様には様々な協力をいただいていた。婚姻数の増加は明るい兆しだと考えている。その流れを一層確かなものとしていき、結婚への気運を高めていくことは、皆様と連携してこそだと思っている。ともに頑張っていきたい。

■一般社団法人日本結婚相手紹介サービス協議会(JMIC) 理事長 升村要氏/副理事長 吉末育宏氏

結婚相談所の利用による成婚者数は増加しているものの、手厚い人的サポートが受けられるなどの結婚相談所のメリットが十分に認知されているとは言えない。そのため令和7年度は、都と連携して、お試し結婚相談の拡充や結婚相談所の紹介動画の発信、都施設を活用した結婚相談所体験セミナーなどを開催予定。さらに、今後は、都のAIマッチングシステム利用者を対象とした結婚相談所の無料体験など、気軽に結婚相談所を体験する機会を拡大していきたい。

■公益社団法人日本ブライダル文化振興協会(BIA) 専務理事 鈴木直樹氏

若い人の「結婚したい」を増やすことが必要。令和7年度は、東京都・FWJと連携した都有施設での挙式を実施する。さらに当会としては、ブライダルコーディネーターが厚生労働省のものづくりマイスター認定対象職種となったことから、学校等へマイスターを派遣し、結婚について考える機会を創出していきたい。今後は、都と連携して、学生をターゲットとした動画やフォトコンテストなど、若年層が幸せや結婚について考えるきっかけ作りを検討していきたい。

■一般社団法人未来ウエディング JAPAN(FWJ) 副会長 渋谷守浩氏/監事 衣笠歩氏

結婚式参列者の意識調査をしたところ、結婚式への参列が恋愛や結婚意欲を高め、それが2-3か月後も継続していることが分かった。令和7年度は、東京都・BIA・FWJで都有施設での挙式を予定しているが、未婚化対策は長期的に根気強く取り組んでいくことが重要である。今後も引き続き、連携して取り組んでいきたい。

■一般社団法人恋愛・結婚マッチングアプリ協会(DMMA) 代表理事 飯塚勇太氏/監事 伊香賀淳氏

業界の健全な発展及び恋愛・結婚の希望が叶う社会形成に貢献するという目的を掲げ、令和7年4月に、団体名称をはじめとして、活動目的、事業内容、会員区分などを刷新した。6月にはマイナンバーカードの活用についてデジタル庁と協定を締結したところでもある。マッチングアプリ業界を取り巻く課題には、マッチングアプリを不正に利用したSNS型ロマンス詐欺の被害増加や、アプリの信頼性を第三者が認証するIMS認証の取得率・認知率が低いことなどがあり、令和7年度は都と連携して、IMS認証の認知拡大に係る取組を行う予定である。今後も、より安心安全なマッチングアプリの利用環境の向上に尽力していく。